

教科(科目)	福祉(生活支援技術)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	3	教科書	
		副教材	最新介護学全書6 生活支援技術Ⅰ 最新介護学全書7 生活支援技術Ⅱ
科目の目標	自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させ、基礎的な介護の知識と技術を習得させるとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が利用者役・介護者役になることで、利用者との人間関係について理解し基礎的なコミュニケーション能力の育成を図る。 ・「こころとからだのしくみ」の授業と連動させ、科学的な知識の裏付けによる支援の必要性や方法を理解する。 ・利用者の生活や個性、尊厳を踏まえた生活の自立について理解し、それに必要な実際的な支援の方法が提供できるよう考える能力を養う。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	生活支援とは何か	生活支援の意味と役割 授業の進め方と授業内容 実習時の心構え、服装、準備、レポート作成 実習室の使い方	プリント確認 レポート確認 行動観察 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援技術について学習すべき内容がイメージできている。 ・清潔感があり、身だしなみを整えることができている。 ・必要時メモ・ノートをとることができている。
	居住環境の整備	生活支援における居住環境整備の意義と目的 生活空間と介護	レポート確認	・居住環境整備の意義と目的が理解でき簡単に説明できる。
5		居住環境のアセスメント 快適な生活の場作り	レポート確認	・アセスメントすべき具体的内容を理解している。
	中間考査			
6		教師による模範を見学の後、判別実習の実施 ベッド、寝具の取り扱い リネンの取り扱い 家具の取り扱い シーツ交換	実技練習観察 実技テスト レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・必要物品の名称を覚えている。 ・基本的な操作が習得できている。 ・班内で協力できている。 ・教師の模範を見学しイメージをつかむことができている。
7	身じたくの介護	整容における介護 爪切り 髭剃り 整髪	実技練習観察 実技テスト レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全、安楽を第1に行動できている。 ・利用者の希望を尊重し、適切な行動がとれている。
	期末考査			
8	夏季休業			
9		衣服の着脱 和式寝衣の着脱 パジャマの着脱 部屋着の交換 口腔ケア	実技練習観察 実技テスト レポート確認 自己評価 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にあった物品が準備できている。 ・利用者の安全、安楽やプライバシー配慮した行動がとれている。

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
				・手順を正しく理解し、利用者が自立できるような支援を提供できている。
1 0	「移動」の介護	移動の意義と目的 移動・移乗における介護技術 ボディメカニクス 体位変換 安楽な体位 車いすの介助 歩行介助	実技練習観察 実技テスト レポート確認 自己評価 確認テスト	・利用者の安全、安楽を第1に考え行動でき転倒・転落が予防できている。 ・手順を正しく理解している。 ・利用者自身及び介護者の負担を最小限にできている。
中間考査				
1 1	食事の介護	食事の意義と目的 食事における介護技術 食事の介助	実技練習観察 実技テスト レポート確認	・手順を正しく理解し、利用者の今ある機能を活用することができる。
1 2		誤嚥・窒息の防止 脱水の防止	自己評価 確認テスト	・誤嚥、窒息、脱水を予防した食事介助ができている。
期末考査				
1	排泄の介護	排泄の意義と目的 排泄における介護技術	自己評価 確認テスト	・排泄介助の重要性を理解し、迅速に対応している。
2		排泄の介助	レポート確認	
3		尿器・便器の介助 ポータブルトイレ おむつ介助	実技練習観察 実技テスト レポート確認	・手順を正しく理解し、利用者のプライバシーに配慮した介助ができている。
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

①関心・意欲・態度

生活支援における課題について関心を持ち、利用者の生活の自立を目指して意欲的に学習に取り組むとともに、課題解決のための実践的な態度を身につけている。

②思考・判断

介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し創意工夫する能力を身につけている。

③技能・表現

介護分野における基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の支援内容を合理的に計画し、適切に実践するとともに、その成果を的確に表現する。

④知識・理解

生活支援、介護における基礎的・基本的な知識を身につけ、生活支援技術の意義や役割を理解している。

「生活支援技術」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20	%程度	②思考・判断	20	%程度
③ 技能・表現	30	%程度	④知識・理解	30	%程度